

～日本のオープンサイエンスを支える～

ジャパンリンクセンター戦略	戦略を遂行するためのアクション
<p>1. 国際的な協調を図りつつ、日本における学術リソース、学術環境、言語等に対応した DOI の登録、利活用環境を整備します。</p>	<p>1-1. 日本の学術リソースへのDOI登録インフラ環境を整備します。 1-2. 会員への柔軟なDOI登録支援を行います。</p>
<p>2. 学術において必要な様々なリソースへのDOIの登録を促進させます。</p>	<p>2-1. 研究者が利用する様々なリソースへのDOI登録のため、メタデータ登録情報の整備を行います。 2-2. ユーザーに対し多様なリソースへのDOI登録の利用促進を行います。</p>
<p>3. DOI やメタデータのオープンな利活用を推進します。</p>	<p>3-1. 他のIDサービスとの連携を行い、学術インフラサービスや学術情報サービスとの連携を強化します。 3-2. JaLJCにおけるメタデータ検索機能の充実、DOIの利用状況の提供に取り組みます。 3-3. ユーザーの意見を収集し、研究環境の変化に応じたサービス開発を目指します。</p>
<p>4. オープンサイエンスの推進に向けて、研究データの利活用の促進に取り組めます。</p>	<p>4-1. 研究データのDOIに対して、国内外の組織と連携し、研究データ利活用を促進させます。 4-2. 研究データ利活用協議会(RDUF)との協力関係をより強化します。</p>
<p>5. DOIを活用する学術コミュニティの活性化に貢献します。</p>	<p>5-1. DOI活用促進のために、イベント等を通じて、DOIの理解を深めると共に、ユーザー同士のコミュニケーションを促進させます。</p>
<p>6. コミュニティのニーズに応える、透明性の高い持続的な組織運営を目指します。</p>	<p>6-1. DOIが長期的に運用されていくために、DOI登録を担う日本の学術インフラ機関としてのあり方を検討し、拡充します。</p>